

組織名	東区	区長	斉藤 淑子
組織の目的・方向性	「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均） 		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

東区組織目標

<p>東区では、新潟市総合計画 2030 及び東区区ビジョンまちづくり計画に基づき、「産業と多様な魅力が調和し、心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組みます。</p> <p>この方針のもと、今年度は次の5つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ものづくりをはじめとする多様な産業の魅力を活用して観光や教育に結び付けていく「産業観光」の進展に向けて、民間事業者をはじめ多様な主体と連携しながら取り組みます。 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。 3 民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。 4 高齢者の介護予防、認知症予防、フレイルチェックなどに取り組むとともに、「地域の茶の間」など地域住民同士の支え合いのしくみづくりを支援します。 5 い～てらす、わいわいひろば、こども創作活動館などの子育て支援施設の運営を通じこどもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。
--

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	<p>1 民間事業者のほか、学生団体、新潟県立大学、新潟大学、金融機関、東区役所の産学官金連携による実行委員会を立ち上げ「東区オープンファクトリー」を初めて開催しました。また、区内にある県立北高等学校と連携し、高校生を対象にオープンファクトリーの見学ツアーを行うなど多様な主体と連携しながら取り組み、東区の魅力発信に努めました。</p>				

	<p>2 令和3年度から3年間で、東区内すべての避難所を対象に避難所運営ワークショップを実施しました。令和5年度は2コミ協、6か所の避難所を対象に実施し、参加者からは今後の防災訓練や避難所運営に参考になったとの感想が多く聞かれ、区民の防災意識の向上に努めました。</p> <p>3 民生委員協力のもと、75歳以上の高齢者のみ世帯への見守り訪問により個々の状況を把握し、介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげることで地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援しました。</p> <p>4 コミュニティ協議会との協働による介護予防講座を実施し、健康寿命の延伸に取り組みました。また、東区社会福祉協議会と協力し情報交換の場を設け、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。</p> <p>5 子育て支援施設の運営とともに、各種講座を通じて子育て世代同士の交流を促進しながら、育児の不安感や孤独感の解消に努めました。また、情報誌（ままっぷ）の発行や東区こども文化祭、子育て3施設を巡るスタンプラリーを開催し、子育て支援施設の周知を行いました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 「産業観光」の進展に向けて、産学官金連携による「東区オープンファクトリー」の実施を継続支援し、多様な主体と連携しながら「産業のまち東区」の認知度向上と関係人口、交流人口の拡大につなげます。</p> <p>2 防災講座等を通して、避難所運営体制の強化や、区民の防災意識向上の取り組みを継続します。</p> <p>3 これまでの調査で蓄積した情報を次回の調査に活用しながら、継続して高齢者の見守りを行っていきます。</p> <p>4 健康寿命延伸を目的に、コミュニティ協議会が自主的に取り組む健康づくりや介護予防講座を支援していきます。 また、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。</p> <p>5 事業を通して子育て3施設の連携を強化し、東区の強みである子育て施設の情報・魅力発信や、地域資源の活用、交流人口、定住人口の拡大につなげていきます。</p>

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考)	健康寿命	作成日	R5.4.1
組織名(部)	東区役所	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課	評価日	R6.3.31
			関連する総合計画における政策指標		

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	民生委員・児童委員や地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会などの関係機関との連携を一層強化し、住民の福祉ニーズに即した支援を推進します。(IV-2-(1))		高齢者対象世帯への訪問調査の実施	対象全世帯への訪問	対象者全世帯への訪問調査の実施	高齢者見守り訪問	75歳以上の独居や高齢者のみ世帯について、民生委員による一次訪問を実施。地域包括支援センター等が二次訪問を行い、必要なサービスにつなげます。	7,430人に対し1次調査を実施し、2次調査対象49人を抽出した。2次調査により、14人を介護保険や見守り等の必要なサービスにつなげました。	これまでの調査で蓄積した情報を次回の調査に活用しながら、継続して見守りを行います。
2	高齢者の介護予防、認知症予防、フレイルチェックなどに取り組むとともに、「地域の茶の間」など地域住民同士の支え合いのしくみづくりを支援します。(IV-2-(2))	政策7-施策1-①	コミュニティ協議会との協働による健康づくり介護予防講座の実施	8回	8回	介護予防(フレイル予防)講座	健康寿命延伸を目的に、コミュニティ協議会との協働による健康づくり及び介護予防(フレイル予防)に取り組みます。	紫竹中央コミ協は6~8月に3回(参加者延61人)、江南コミ協は5~7月に3回(参加者延98人)実施しました。 また自主活動につながるよう、中野山コミ協2回支援し、合計8回取り組みました。	介護予防講座の実施を希望しているコミ協に対して引き続き支援していきます。
3	「い〜てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」などの子育て支援施設の運営を通じ、子どもがいきいきと活動できる場、保護者の相談や交流の場として、安心して子育てができる環境を提供します。(II-1-(1))		3つの主要子育て支援施設の利用者数	19万人	21万人	東区2km子育てトライアングル魅力発信	「い〜てらす」、「こども創作活動館」、「わいわいひろば」の連携を強化し、トータル的な企画・運営・事業展開を図り、子育て支援施設の情報発信や地域資源の活用、交流・定住人口の拡大に繋がります。	子育て支援施設の運営とともに講座等の実施や情報誌(ままっぶ)の発行を行いました。また、東区2kmこども文化祭や子育て3施設を巡るスタンプラリーを開催し子育て支援施設の周知を行いました。	事業を通して子育て3施設の連携を強化、トータル的な企画・運営・事業展開を図り、東区の強みである子育て施設の情報発信や地域資源の活用、交流人口、定住人口の拡大に繋がります。
4	栄養・運動・休養などの健康づくりに関する教室や講習会等を通じた意識啓発と実践の機会の提供に努めます。(IV-2-(2))		中学校等における思春期健康教育の実施	18回	20回	思春期の心と体の健康教育	中学校、高校、特別支援学校で助産師等の専門職による性教育や相手を思いやる気持ち、命の大切さを学ぶ思春期健康教育を行います。	中学校8校11回・高校2校3回・特別支援学校1校6回(計11校20回※その他小学校1校1回)健康教育を実施しました。生徒のアンケート結果より、正しい知識の習得・意識の変化につながる取り組みが実施でき	計画した特別支援学校1校については実施ができなかったが、今後は学校との意思疎通を図り、児童虐待の未然防止に向け、区内中学校・高校・特別支援学校において市助産師会との連携のもと取り組みを継続します。
5	継続的に業務改善を実施し、事業のあり方、やり方の見直しなど、内部事務の効率化を進めます。	行財1-2-①	各係・各グループで業務改善の実施	15件	21件	効果的・効率的な業務改善	効果的・効率的に市民サービスを提供できるよう業務や窓口改善に取り組みます。	効果的・効果的な業務や窓口改善に取り組み、市民サービスの向上、事務ミス防止対策に取り組みました。	継続的に取り組み、効果的・効果的な市民サービスの向上及び職員の働きやすい環境整備に努めます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	東区役所	組織名 (準部・課・機関名)	総務課			評価日	R6.5.8

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要			
1	地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。		避難所運営ワークショップの開催	2コミ協 6避難所	2コミ協 6避難所	避難所運営ワークショップ	避難所運営を想定したシミュレーションを避難所運営委員等を対象に実施します。 令和3年度から5年度で東区内全ての避難所を対象に実施します。	○	令和3年度から3年間で、区内すべての避難所を対象に実施しました。令和5年度は2コミ協、6避難所で実施し、防災訓練や避難所運営に参考になったとの感想が多く聞かれ、区民の防災意識の向上に努めました。	6年度以降も引き続き実施していく。
2	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど窓口サービスの一層の向上に努めます。	行財1-1-①	区独自の職員研修の実施回数	5回	異動者研修1回 メンタルヘルスセミナー1回 区長随行研修1回 救命講習1回 接遇研修1回	窓口サービスの向上を目的とした区独自研修の実施	異動者研修、メンタルヘルス研修、救命講習、接遇研修等を実施します。	○	予定どおり区独自の職員研修を実施できた。	窓口対応等におけるサービスの向上のため、引き続き実施していく。
3	東区役所での「にぎわい」の創出を促進します。		南口エントランスホールの活用日数(有償貸付のみ。市事業紹介パネル展示を除く)	100日	97日	南口エントランスホール活用事業	希望する地域住民や団体等に貸付を行い、庁舎のにぎわいづくりを推進します。	○	11月末まで新型コロナウイルスワクチン接種会場として49日間使用していたこともあり、会場使用に制限があったが、おおむね目標達成することができた。	コロナ禍前の活用日数を目標に、引き続き実施していく。